令和８年度　　学 校 図 書 館 全 体 計 画　　江戸川区立小松川第二小学校

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

学 校 教 育 目 標

・よく考え工夫する子
・思いやりのある子
・力を合わせやりとげる子

読書が好きな児童が多い。調べる学習等で学校図書館を利用する機会は少ない。

学 校 図 書 館 の 目 標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う。

ね　ら　い

1　児童の読書意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることができるようにする。
2　学び方指導を充実し、学校図書館活用の望ましい態度や技術を高めることができるようにする。
3　多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指 導 の 重 点

1　教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
2　学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
3　司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各 学 年 の 重 点 目 標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・すすんで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物をすすんで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・調べる学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具　体　的　な　取　組

〔 各 教 科 〕

○学校図書館機能を活用し、課題解決学習、調べる学習、個別指導やグループ学習の場とする。
○情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
○読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔 総 合 的 な 学 習 の 時 間 〕

○学び方や考え方を身に付けることができるようにする。
○課題の解決、探究に主体的に取り組む時間を設定する。
○系統的に情報活用能力を育成する。

〔 家 庭・地 域 と の 連 携 〕

○家庭読書の推進を図る。
○図書ボランティアや公立図書館（団体貸出、レファレンスなど）と連携する。

〔 読 書 科 〕

○本や資料を使って調べる学習の方法を身に付けるために、読書科ノートを活用する機会を設定する。
○調べる学習のまとめとした成果物を作成する場を設定する（「江戸川っ子読書科コンクール」、「調べる学習コンクール」）。

〔 特 別 活 動 〕

○保護者やにこにこ班での読み語り活動など、本に親しむ場を設定する。
○図書委員会を中心とした図書館運営、にこにこ読書期間の読書推進企画を実施する。

〔 特 別 の 教 科　道 徳 〕

○図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

朝 読 書 の 推 進　　保護者による読み語り　　図書館経営評価の実施　　図書環境の整備・充実